

第167回 伊丹市内企業の景気動向調査

<調査対象> 伊丹市内の主要企業 150 社
 <調査方法> 郵送によるアンケート調査方式
 <比較方法> 景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較
 <有効回答数> 150 社中 68 社（一般 27、食料品工業 9、商業 6、建設業 11、運輸業 8、サービス業 7） 回答率 45.3%

調査結果

〔伊丹市内企業の経営動向について〕

産業別 DI（景気動向指数）とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向（増加・好転など）の回答割合からマイナス傾向（減少・悪化など）の回答割合を差し引いたもの。

景況天気図				
	晴れ(好調)	曇り	雨(不振)	雪
DI 値	+30	+10	▲10	▲30

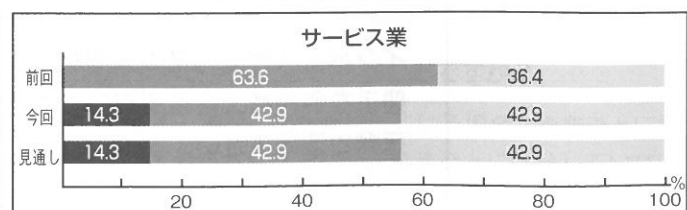
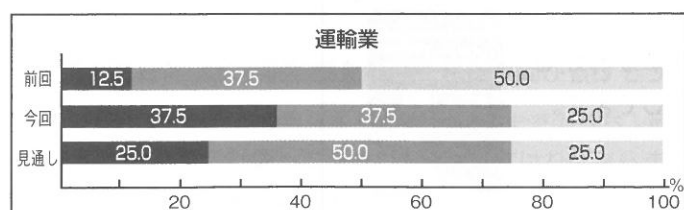
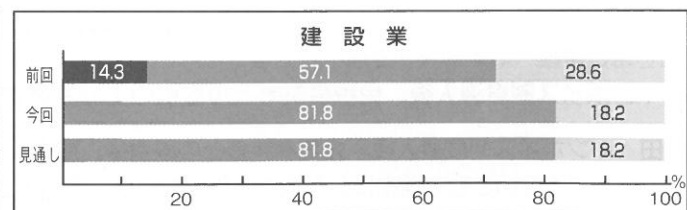
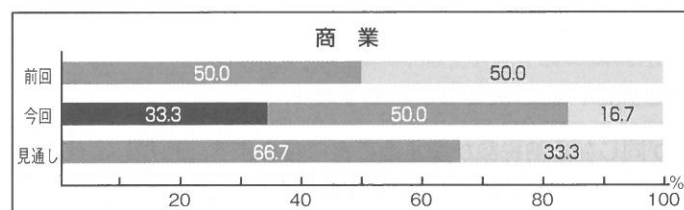
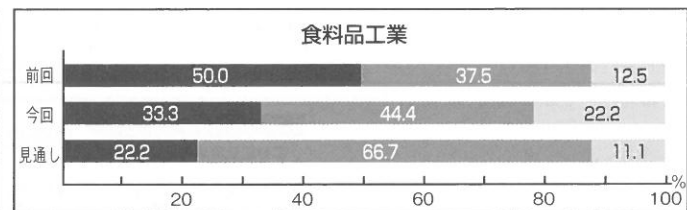
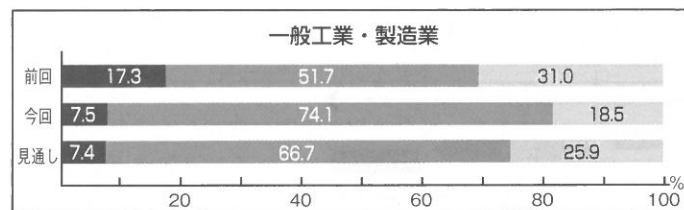
DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

	業 況		売 上		採 算		仕入単価		従業員	
全 業 種	☁️	▲ 35.3	☁️	▲ 1.5	☁️	▲ 52.9	☁️	▲ 63.2	不足	29.4
一 般 工 業	☁️	▲ 33.3	☁️	▲ 7.4	☁️	▲ 48.1	☁️	▲ 51.9	不足	29.6
食 料 品 工 業	☁️☔	▲ 22.2	☁️☔	11.1	☁️	▲ 44.4	☁️	▲100.0	かなり不足	33.3
商 業	☁️	▲ 66.7	☀️	33.3	☁️	▲ 50.0	☁️	▲ 66.7	丁度	0.0
建 設 業	☁️	▲ 45.5	☁️☔	▲ 18.2	☁️	▲ 63.6	☁️	▲ 81.8	かなり不足	54.5
運 輸 業	☁️	▲ 37.5	☁️☔	25.0	☁️	▲ 62.5	☁️	▲ 50.0	かなり不足	50.0
サ ー ビ ス 業	☁️☔	▲ 14.3	☁️☔	▲ 28.6	☁️	▲ 57.1	☁️	▲ 42.9	過剰	▲ 14.3

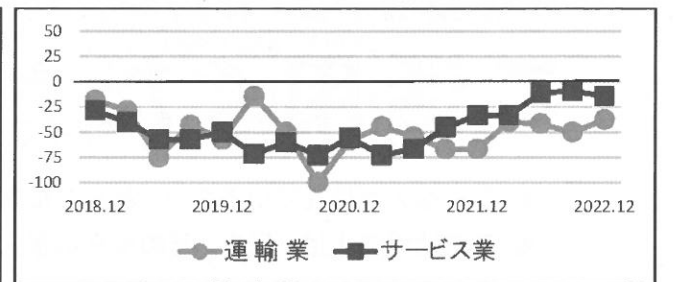
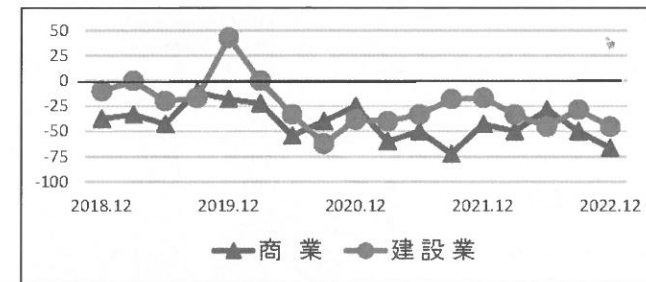
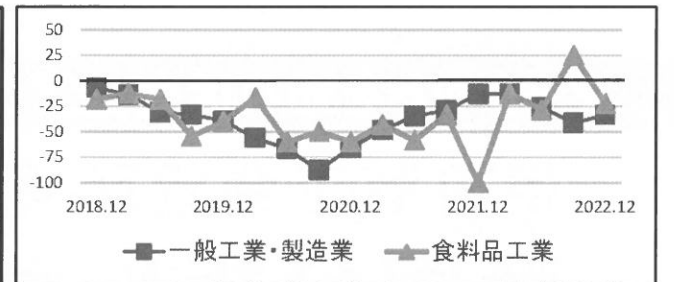
〔伊丹市内企業の景気動向について〕

今回の調査結果（回答 68 社）によると、令和 4 年 7～9 月期の景気実績は「上昇」回答 16.2%（前回 16.4%）、「下降」回答 22.1%（前回 32.8%）、景気見通しは、「上昇」回答 10.3%、「下降」回答 25%となった。

グラフの表示 ■ 上昇 ■ 横ばい ■ 下降



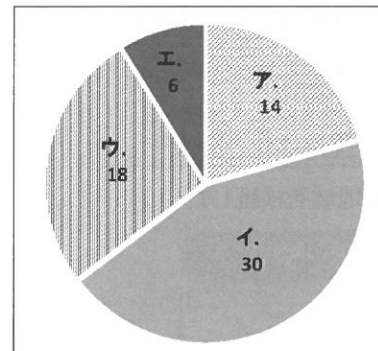
★業況 DI の 4 ヶ年推移



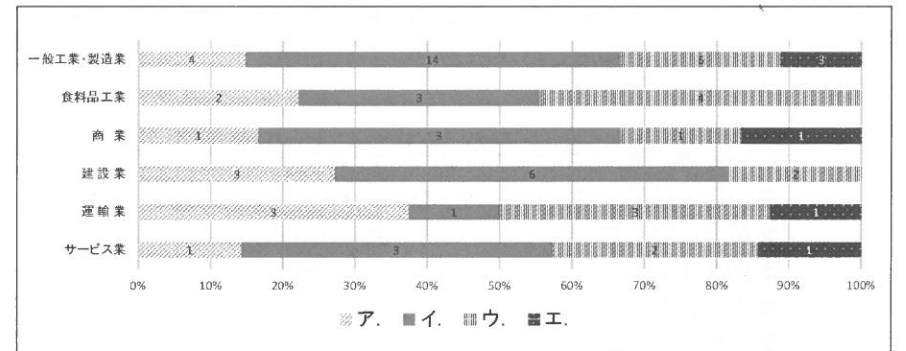
4-1. 今年度（2022 年 4 月以降）において、賃上げを行いましたか？

回答：ア、賃上げを実施した（年収換算ベースの賃上げ率 3%以上）
 イ、賃上げを実施した（年収換算ベースの賃上げ率 3%未満）
 ウ、現段階では行っていないが、今年度中（あるいは次年度）賃上げを行う予定
 エ、賃上げを実施していない（以後も予定なし）

〈全体〉



〈業種別〉



4-2. (上記設問で 1 または 2 と回答した方のみ) 実施した賃上げの内容は何ですか（複数回答可）

	合 計	一般工業・製造業	食料品工業	商業	建設業	運輸業	サービス業
定期昇給	29	13	3	3	6	1	3
ベースアップ	16	5	3	2	3	2	1
賞与の増額	6	5	0	1	0	0	0
新卒者の初任給の増額	3	3	0	0	0	0	0
再雇用者の賃金の増額	2	0	1	1	0	0	0
その他	5	4	0	0	0	1	0

（その他の内訳： 物価手当、役職者への手当見直し、時給の引き上げ、最低賃金に合わせたもの、今年度の内容は不明）

ご意見など

- ・あらゆる物の仕入価格上昇が激しいが、商品価格に転嫁しきれず収益を圧迫している
- ・電気料金や運賃などの上昇が厳しい ・先行き不透明な状況が継続している
- ・売上は上昇したが人手を確保するための賃金アップや社会保険の負担が堪えている
- ・人手不足であるが、かなり求人が少ない傾向にある